



発行/2019年8月26日
 グリーンコープひろしま理事会
 広島市安佐南区緑井1-28-47
 TEL(082)831-1503 FAX(082)870-1800
 組合員数20,343人
 出資金積立金総額 1,012,460,484円 (7/20現在)

日々の活動の様子は
 こちらをご覧ください

●グリーンコープひろしま 活動ブログ
 「けんきくんのわくわく日記」
<http://blog.goo.ne.jp/greencoop-77>

●Facebook: グリーンコープ生協ひろしま
<https://www.facebook.com/gchiroshima/>

●グリーンコープひろしまHP
<http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/>

福山ばら祭 ♪ ロハスフェスタ ♪ すこやか2019 ♪ LIVE Green 2019年初夏、イベント参加のご報告。



福山ばら祭り 5月18日(土)19日(日)……

当日は、お天気にも恵まれて大勢の方に訪れていただきました。

・産直びん牛乳の試飲では、「おいしい!」「飲みやすい〜」と、うれしい声も聞かれ、びん牛乳に興味を持ってくださる方も多くおられました。

・販売した冷凍えだまめ、果汁グミは、どちらもお子さんが大好きという方が多く、おやつとして、また持ち歩きの軽食として大変好評でした。

・緑茶の高原朝霧や、エコ・ブラックコーヒーは、持ち歩きにも便利で、特に高原朝霧は幅広い世代に人気でした。

グリーンコープの食品は安心・安全でおいしいということ
 を、まだグリーンコープに出会っていないみなさんに、もっと広く、伝わって
 いくといいなあと思います。



(理事 前津宗)

ロハスフェスタ 5月24日(金)25日(土)26日(日)

当日は、とても暑い日でした。

ブースではグリーンコープのみかんジュースとりんごジュースを販売しました。終了時間よりもだいぶ早く売り切れとなりました。「おいしい!」とリピートして下さる方もいらっしゃいました。

アンケートにお答えくださった方のお子さんを対象に、こねこねせっけん体験をしてもらいました。子どもたちは、各自配られたせっけんを一生懸命こね、型で抜いたり、好きな形にしたり、自由に楽しんでいました。来られた方とグリーンコープの話をしたり、組合員の方ともお話しできて、おすすめ商品の話を聞いたり楽しい時間となりました。



(理事 北谷)

LIVE Green 6月30日(日)

本願寺広島別院で開催された音楽イベント&マルシェ&ワークショップに、「産直びん牛乳の試飲」と「こねこねせっけんのワークショップ」で参加しました。

当日は、雨の予報もラッキーなことに雨雲が去り、大勢の参加者で賑わいました。音楽イベントは、二階堂和美さんやハナレグミwithU-zaanという顔ぶれで、皆さんビールやワインを飲みながら大いに盛り上がりました。私自身は初めて知った催しでしたが、ライブと“自然派”にこだわった食材のマルシェはとても魅力的で、来年はもっとゆっくり参加してみたいと思いました。

産直びん牛乳も「おいしい」と好評で沢山の方に試飲していただきました。

また、こねこねせっけんは子どもたちに人気で、真剣な表情でクマ、リス、ネコ、などの動物や飛行機、ハート、星などの型抜きをして形を整え、大事そうに持ち帰っていました。アンケートにも答えていただき、新たな仲間が増えることに期待したいと思います。



(理事 前津)

すこやか2019 6月1日(土)2日(日)

エキキタにある広島テレビ新社屋で行われた「すこやか2019」に参加しました。今年は、会場がグリーンアリーナから広島テレビに移り、2日間で過去最多の41,916名の来場者だったそうです。グリーンコープは、1階のステージ横のブースで牛乳の試飲やお買い物体験を行い、大勢の方にご参加いただきました。牛乳は、たくさん準備をしていましたが、すべて試飲していただいただけ「さらっとしておいしい!」「普段は飲まない子どもがゴクゴク飲みました!!」などご好評をいただきました。

お買い物体験では、アンケートに答えていただいた方のお子さんに買い物券を渡してグリーンコープ自慢のお菓子と交換してもらいました。すごく悩むお子さん、即決のお子さんなど、豊かな表情を見ることができました。

この子たちにグリーンコープの安心・安全な食べ物が広がっていくといいな、と思いました。



(理事 木下)

首長メッセージの取り組み

グリーンコープは、せっけん派生協です。全国にあるせっけん派生協と共に「せっけん運動ネットワーク」に参加し、今年度は「せっけんライフはハッピーライフ～地球がよくなる毎日～」を合言葉に活動を進めています。7月と11月には「シャボン玉月間」としてせっけんの良さを広め、伝えています。その取り組みの一つとして、毎年5月～6月にかけて各支部のくらし担当理事が各自治体を訪問、環境についてグリーンコープの取り組みをお伝えし、自治体と取り組まれている水環境への取り組みをお聞きします。また同時に、各首長から環境を守る運動に対する応援メッセージをいただくお願いをしています。ありがとうございました。そのメッセージをご紹介します。

(理事 金子)



「せっけん使おう!7月はシャボン玉月間」応援メッセージ

西支部

廿日市市

廿日市市長 眞野 勝弘

廿日市市は、北は中国山地、南は穏やかな瀬戸内海に囲まれた自然豊かなまちです。こうした自然の特性を活かし、海に浮かぶ「世界遺産・厳島神社」を擁する宮島をスタートし、中国山地の山々に囲まれた避暑地でもある「吉和」をゴールとする、標高差900mに及ぶトライアスロン大会を毎年開催しています。このような大会を開催することができるのも、豊かな自然をこれまで守り伝えてきた先人達の努力のおかげです。

貴会の「せっけん運動」は、実践しやすい身近な環境保全活動として、大変意義深い活動であり、貴会の長年にわたるご尽力に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が今後ますます広がることを願っております。

東広島支部

熊野町

熊野町長 三村 裕史

平成30年7月豪雨災害以降、多くの皆様からお寄せいただいた多大なるご支援・ご協力に対し、改めて心から感謝申し上げます。

本町は、周囲を山々に囲まれ豊かな自然環境に恵まれた高原盆地の町です。この豊かな自然を次世代へ引継ぐため、町と町民が連携して環境保全に取り組んでいます。その取り組みの一環として、公共下水道の整備や合併浄化槽設置の推進、環境への意識向上を目的とした環境学習「水辺教室」及び町全体での河川清掃を行っています。

その中で、貴組合の長年にわたる自然を次世代へ引き継ぐ活動に敬意を表しますとともに、今後益々「せっけん運動」の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

呉市

呉市長 新原 芳明

呉市は、市域に島々が多く点在し、広島県内の瀬戸内海国立公園の陸地部面積の4割強を占める等、優れた景観や歴史的風土に所在しています。

漁業が盛んで、むき身のかきの生産量は日本一となるなど、美しく恵み豊かな海の環境を有しておりますが、海ごみ等による海域の汚染など、水環境に関する課題がございます。

このため、平成30年3月に改定した第2次呉市環境基本計画においても、引き続き水環境の保全に積極的に取り組むこととしております。貴組合が長年にわたり継続されておられる水環境の保全活動は非常に心強いものであり、深く敬意を表するものでございます。今後とも、貴組合の活動が更に発展するよう御祈念申し上げます。

東広島市

東広島市長 高垣 廣徳

広島県中央部に位置する東広島市は、美しく豊かな自然環境に恵まれ複数の川の源でもある「水の生まれるまち」です。この水を活かした酒造りも盛んで、灘、伏見に並び称される銘醸地の一つとして知られています。

この豊かな水環境を次世代に引き継いでいくため、本市では公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置を推進するほか、環境学習によって、市民に身近な川の水質維持に対する意識をより強くしてもらうなど啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

せっけんを通じ、環境問題に広く目を向ける貴会の活動に敬意を表するとともに、環境保全に取り組む貴会の今後益々のご発展をご期待申し上げます。

中央支部

府中町

府中町長 佐藤 信治

府中町は、周りを広島市に囲まれ、人口5万2千人が住み、たくさんの住宅が建ち並ぶまちですが、北東部には水分峡森林公園という自然豊かな公園があります。また、市街地には3本の川が流れており、身近にある自然環境を感じることができます。

当町では、これらの自然環境を未来に残していくために、平成30年度から住民と協働で行う生き物調査を始めました。住民に町内の動植物を調査・報告していただき、調査結果を環境学習に役立てるとともに、調査の過程で自然と触れ合い、自然に対する興味や問題意識を持つきっかけになればと考えております。

貴会の水環境を守る「せっけん運動」も、家庭でできる環境保全活動として、今後ますます広がりをみせ、きれいな川を育むとともに、美しい自然環境が守られることをご期待申し上げます。

広島市

広島市長 松井 一貴

広島市は、中国山地を背に緑豊かな山々や丘陵に囲まれ、南には風光明媚な瀬戸内海が開けており、太田川河口デルタには、六つの川が流れ、「水の都ひろしま」といわれる特有の景観を形成する、豊かな自然に恵まれた都市です。

六つの川は、豊富な資源の里海である広島湾に流れ込み、生物の命を育み、人々の生活を支えています。本市にとって、この豊かな自然環境は、重要な財産です。

この豊かな自然環境を維持向上させ、次世代に継承するため、本市では、第2次広島市環境基本計画において、「豊かな自然環境の保全」を基本目標に掲げ、環境の保全及び創造に関する施策を推進しています。

長年にわたり、水環境の保全活動に取り組まれてきた貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますます環境問題への活動の輪が広がりますことを祈念いたします。



福山支部

尾道市

尾道市長 平谷 祐宏

尾道市は、尾道港開港850年の記念すべき節目の年を迎えました。「復旧・復興から未来に向けたまちづくり」をキャッチフレーズとして、昨年の豪雨災害からの早期復旧・復興支援に全力で取り組むとともに、本市の魅力を最大限生かしたまちづくりを進める新たなスタートの一年にしたいと考えております。

古くから海と深い関わりをもってきた本市では、水環境保全の大切さを理解し、市民一人ひとりが取り組んでいるところであります。今後も身近な水環境を守り、将来の世代へ引き継いでいけるよう取り組んでまいります。

結びに、長年にわたり水環境の保全に取り組んでこられた貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後さらに活動の輪が広がりますよう御祈念申し上げます。

府中市

府中市長 小野 申人

府中市は、広島県東南部内陸地帯に位置し、瀬戸内海に注ぐ芦田川、日本海に注ぐ江の川水系の上下川が流れる自然環境に恵まれた内陸工業都市です。

本市では、川の生き物を調べて川の汚れ具合を確認する「水辺教室」や、水辺を歩いて掃除をしながら自然環境を学ぶ「水辺クリーンウォーキング」などを実施しています。さらに昨年度からは積極的に環境活動を進める地元企業と小学校が交流し、学習・発信する「地元企業による環境学習出前授業」がスタートするなど、環境を守る取り組みを推進しているところです。貴会の水環境保全活動に対するご尽力に心より敬意を表し、美しい自然環境が次世代へと引き継がれることを祈念申し上げます。

三原市

三原市長 天満 祥典

三原市は、広島県の中央東部に位置し、南部には沼田川流域の平野に加え瀬戸内海と山地に挟まれた帯状の平野が広がり、北部は起伏の比較的小さい山々が広がる、多様な自然環境に恵まれたまちです。本市では、この豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、昨年6月に「第2次三原市環境基本計画」を策定しました。水環境の保全に関しては、小学生を対象に「水辺教室」や「海の環境教室」などを実施し、水質保全の大切さを伝えています。

貴会の「せっけん運動」による環境保全活動に敬意を表しますとともに、この活動が今後さらに広がりますようご期待申し上げます。

忘れない! 東日本大震災から8年

～福島のある日から今を聞いてみませんか～

2019.5.28(火)

安芸区民文化センター

FoE Japan・福島ほかほかプロジェクト事務局の矢野恵理子さんと、そこで開催される保養プログラムに参加されている長島香奈美さん・洋子さん親子をお迎えし、「忘れない! 東日本大震災から8年」というタイトルで学習会を開催しました。11人のお子さんとお母さんの15人家族の長島香奈美さんは、震災後少しでも被ばくを免れるために、長崎・会津・北海道などで避難生活を送られていました。長島さんが語られた避難の際の苦渋の決断、その後福島に帰還してからのご苦労は、想像以上に過酷なものでした。矢野さんからは、福島の現状、被災者の置かれている状況などをお話いただきました。政府が汚染土を再利用し汚染水を投棄しようとしていることについては、「放射性物質は拡散させず集中管理が必要であり、そのためには法の制定が必要だ」と言われていました。

また、福島には“ホットスポット”と呼ばれる放射線量が高い場所が未だに沢山あるそうです。矢野さんが活動するFoE Japanでは、福島に住む子どもたちが放射線量の低いところでのびのび遊び、お母さん方が悩みを分かち合えるプログラム『福島ほかほかプロジェクト』を開催しています。政府の“復興”という名のもとに展開される「福島はもう大丈夫」という広報活動。それにより、福島で暮らすことを選んだ人々は、実際には多くの不安な気持ちを押し殺し、いろいろなことを我慢しながら暮らしているそうです。そして、矢野さんたちが提供する



保養の場こそが、福島で暮らすお父さん、お母さんたちにとっても不安な気持ちや苦労などを本音で語れる唯一の場所だとお聞きして、保養の重要性をあらためて実感しました。事故から8年の年月が過ぎても、まだまだ事態は収束していないことがわかりました。被災された方のお話を直接聞き、その苦しみ、原発を続けることのリスク、そしてわたしたちの生活への影響などを知ることで、脱原発への思いがさらに高まった学習会でした。

(理事 仲村)

脱原発を目指す私たちにできること

—弁護士に聞く託送料金の話—

2019.6.25(火)

安芸区民文化センター

講師： 弁護士 馬場勝さん / グリーンコープ共同体 常務理事 東原晃一郎さん

グリーンコープでは、1986年チェルノブイリ原発事故以降、生命と暮らしを奪う原発とは共存できない、という理念のもと脱原発運動を続け、「一般社団法人グリーン・市民電力」を設立し、市民発電所の建設、「グリーンコープでんき」の共同購入をすすめています。

ところで、電力を送るための送配電ネットワーク利用料金としての「託送料金」という言葉をご存じでしょうか。この託送料金には、送配電のコストのみならず、原発のコスト、さらに2020年からは賠償負担金や廃炉円滑化負担金などの原発コストが転嫁される、という不明瞭な点があります。こうした国民の負担が必要となる重要な事柄が国会で審議されることなく、ひとつの行政機関にすぎない経済産業省の省令で決められ、履行されようとしていることを知ると、大きな憤りと疑問を感じる人は少なくないと思います。

グリーンコープでは、この託送料金について中国電力をはじめとする大手電力会社、また経済産業省にお尋ねをし、回答をいただきましたが、納得のできるような答えは得られていません。今後も継続的に問いかけを続ける一方、司法の力も借りなければならない必要性を感じています。6月に開催された通常総代会において、「省令が施行される前にこの問題点を司法に問う訴訟を起こすべきではないか」という提案を、総代のみなさんに審議いただき、賛成多数で可決されました。



今回の学習会では託送料金について理解を深め、馴染みの薄い訴訟ということについて、弁護士の馬場さんからわかりやすくお話を聞くことができました。多数で参加いただき、学習会の最後には活発な質問もあったことから、皆さんも多くの疑問や不安を抱かれていると実感しました。原発は、その発電にも維持にも使用後の廃炉にも膨大な費用がかかるものです。事故による環境への影響も想像をはるかに上回ります。そうした原発にかかる費用を、十分な説明もないまま負担させられることは受け入れがたい、そうした思いを共有、確認する時間となりました。

(副理事長 反岡)

グリーンコープひろしま25周年記念リレー講演会

内田美智子さん講演会

食卓から始まる生教育—食べることは生きること—

2019.6.21(金)

安芸区民文化センター

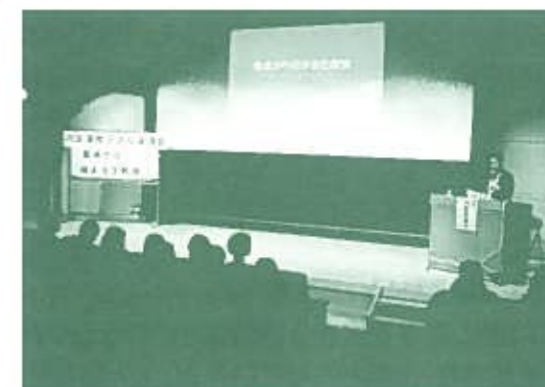
今回で講演いただいた内田美智子さんは、福岡県内で産婦人科医のご主人と共に内田産婦人科を運営され、これまでに3000人以上の出産に助産師として立ち会ってこられたそうです。そしてその経験から、命の尊さと食の大切さを伝えるために年間100回もの講演活動をされています。

講演の始まりは、出産直後のお母さんの言葉がスクリーンに映し出されるところから…。スクリーンには大変な出産を経験されたお母さんの言葉もあり、出産は命がけであり、順調なお産ばかりではなく、中には別れがある場合もある。「生」の反対は「死」ではなく、「産まれない」ことではないか?とも言われていました。無事に生まれ、元気に生きていること、自分自身の周りがある全てのことが当たり前ではなく『奇跡』だということに気づかされました。助産師の内田さんのもとには、望まない妊娠などの問題を抱えた多くの若者が訪れます。その子たちがなぜそういうことになったのか。話を聞いてみると、家でちゃんとした食事を与えられず、親からの愛情も実感できず育ったケースが大半ということでした。親から愛情を注がれて育っていないため、自身も愛情のかけ方がわからないまま親になってしまう、という悪循環が起こっています。

そこで内田さんは、親に代わって食事の大切さを伝えなければと思われたそうです。人間の身体は食べたものによって作られ、整えられるものだから、生きるためにはちゃんとした食事を作って食べなければならない、それによって心も育つものだ、と伝えておられます。「お腹はひもじくないけれど、心がひもじい」という子どもたちが沢山います。お菓子やジュースでお腹は満たされても心は満たされません。愛情のこもった食事や親の笑顔、「あなたを愛している」という態度で伝えていけば、心がひもじくなることはありません。「動物でも子どもが一人前になるまでちゃんと育てるのに、人間の親が動物以下になってはいけません。」と内田さんは話されました。

私自身、日々の生活に追われ食事作りが面倒に感じてしまうこともありますが、毎日の食事を大切に健やかな身体と心を育てるために頑張っていきたいと思いました。

(理事 高尾)



あなたの食卓本当に大丈夫ですか?

2019.7.2(火)

講師： 安部司さん 西区民文化センター

たくさんの方に来場いただきました。様々な実験をしながら、添加物について説明をしていただき、参加者の皆さん、とても真剣に聞いておられました。

実験では、水に甘味料・酸味料・着色料・香料を添加した「もどき」ジュースやマーガリン、コーヒーフレッシュなどが簡単に出来上がりました。スナック菓子などは、グルタミン酸ナトリウムなどの旨み成分を強く感じるため塩辛さに気付かず、ついつい塩分を摂り過ぎてしまうそうです。また、安価なチョコレートは脂と水に乳化剤、着色料、香料を添加しているそうですが、イメージ的に脂と認識せずに食べてしまうのでカロリーの過剰摂取となってしまいます。その他、果汁はほとんど使用していない流行りの「ノンカロリージュース」も、砂糖の代用で「アスパルテーム」や「スクラロース」などの甘味料が使用されており、いずれも自然界にはない物質で、その影響が気になります。

高校生の約4割は生活習慣病予備軍と聞き、驚きました。食品添加物はどんどん増えて、たくさん使われているのに、安全性は置き去りのまま、後から発がん性がわかり使用禁止になっても、消費者には知らされないとのことでした。このことは大変遺憾なことで、私たち消費者が学習して賢くならなければいけないと感じました。「安い」「早い」「便利」を一度疑ってみて、安全性のはっきりしない物は出来るだけ摂らないこと、やはり、自分で手作りするが一番なんだと思いました。



(理事 船津)

西日本豪雨災害から一年

【発災翌日からの支援活動】

昨年7月、西日本各地で河川の氾濫による浸水、土砂災害など、大きな被害をもたらした西日本豪雨災害。グリーンコープでは、発災翌日から避難所への水やタオルのお届けなど緊急支援を行いました。多くの道路が寸断され、配送もままならない現状がありましたが、組合員さんのお宅まで、できるかぎり商品をお届けしようと、夜遅くまで配送業務が行われました。こうした配送業務や被災地での土砂撤去作業は、グリーンコープひろしまをはじめ、他県のグリーンコープからの人的支援により、迅速に対応することができました。

【組合員からのカンパによる支援活動】

被災された方の中には家財道具がすべて流されてしまった方もおられ、生活を再建するために、無料のフリーマーケットなどがボランティアによって開催されました。組合員の皆さんから寄せられたカンパ金を活用させていただき、衣類や調理器具などを購入、お届け、被災された方々がとても喜んでくださっていました。



【地域の復興に向けて】

少しずつ生活が落ち着いてきた秋頃から、元気になってもらえるようなイベント、人と人とかつなげるイベントを開催しています。もちつきなどの行事を、地域、ボランティアの方々と一緒に仮設住宅などで行いました。

【移動販売車（元気くん号）が活躍】

今回の災害で地域のお店が閉店してしまったり、仮設住宅に移られ日常のお買い物が困難になられた方々が多くおられました。行政（呉市坂町）から買い物支援依頼があり、安浦応急仮設住宅、坂町小屋浦、平成が浜仮設住宅に移動販売車（元気くん号）が訪問しています。また、買い物支援活動をグリーンコープのホームページでご覧になった方から、「私たちの地域にも来てもらえませんか？」というお問い合わせがあり、今年3月から新たに小屋浦4丁目にもうかがっています。



【さらなる地域の再生を…】

この度の災害支援から他団体とのつながりが生まれました。安浦地区での居場所づくり（地域食堂）に関わらせていただくことになり、実行委員会の一員として食材提供だけでなく、事前準備や当日の運営まで共に行っています。これからも地域の皆様の声に耳を傾け、必要な支援をお届けできるよう活動してまいります。



（理事長 熊野）

グリーンマーケットオープン!!

2019.6.8(土)

11時のオープンと同時に多くの方にご来店いただき、とても賑わいました。オープン記念として秋川牧園さんの「焼き鳥」の店頭販売や、規格外青果の販売、牛乳の試飲等を実施し、組合員の皆さんだけでなく、地域の方々も続々と来店され、お楽しみいただきました。



西区古江東町1-24



キープ&ショップ グリーンマーケットでは…

- キープのご利用について
曜日を決めて注文した商品を引き取りに来ていただくシステムです。
11時～18時の間、ご都合の良い時間に来店していただければ大丈夫です。
- ショップのご利用について
ショップはお菓子や調味料などを中心に販売します。組合員さんからの声をもとに、パンやノンカップ麺、あるいは規格外青果なども販売しています。
注文し忘れたものや追加で購入したい、などのご要望にもできるだけお応えできるようにラインナップを充実させていきます。

（西支部長 藤岡）

営業時間 火・水・木 11時～18時 キープ&ショップ ★ 月・金 11時～14時 ※ショップのみ ★ 土・日・祝 お休み

事務局報告 <2019年度 仲間作りの様子>

- (1) 2019年度の仲間作りの経過は右表の通りです。
- (2) 香の仲間作りは、目標達成率 65.8%となり、目標には届きませんでした。
- (3) 年間目標達成率は 30.8%となっており、年間消化率 40.4%を下回るペースで仲間作りは苦戦している状況となっています。
- (4) 事務局も様々な情報獲得の行動をおこなっておりますが、組合員さんからの紹介(口コミ)が一番有効です！無料サンプルなど必要な方は遠慮なくお申し付け下さい！
- (5) ご親戚やお知り合いの方で、未だグリーンコープを試したことがない方がいらっしゃいましたら是非、ご紹介をお願いいたします。

7/13までの実績	登録組合員数	仲間作り目標	仲間作り実績	達成率
西支部	6,348	777	262	33.7%
中央支部	6,203	833	221	26.5%
東広島支部	4,242	618	195	31.6%
福山支部	3,550	554	178	32.1%
ひろしま	20,343	2,782	856	30.8%



配送担当者を紹介しま〜す♪

東広島支部

- ◆お名前：深田 典子 (ふかだ のりこ)
- ◆配達地区：呉市広 安芸区矢野 ◆出身地：島根県松江市出身です。
- ◆趣味：温泉巡り、神社巡り ◆好きなアーティスト：悪女時代 (知り合いがやっていて、妙に面白い?)
- ◆休日の過ごし方：一週間の料理を作り置き (出来てないけど…)
- ◆配送担当時の心に残ったエピソード：体力の限界に挑戦している暑い時期に、冷たい飲み物をいただきました。
- ◆配送に出て嬉しかった事：トラックを (私が) 運転していること。
- ◆好きなGC商品：生クリーム (お菓子を作るのですが、泡立てる際にツノがピンと立つ。グラタンに使っても美味しいですよ!)
- ◆組合員さんにひとこと：いつもありがとうございます。これからもいろいろと助けてください。
- ◆福盛副支部長よりひとこと：深田さんはとても真面目な人です。また、かなりの天然キャラでいつも事務所内を明るくしてくれています。頑張り屋さんなので、皆様今後もよろしくおねがいします。



フリーダイヤル

0120-14-0586

受付時間：月～金 9:30～16:30(土・日・祝日休み)

- *グリーンコープの共同購入カタログに掲載されている商品の原材料や次はいつカタログで注文できるかなどについての疑問・質問にお答えします。
- *その他の要望やご意見等は従来通り支部もしくは担当者にお問い合わせください。

てるてるコーナーより



組合員のみなさんから寄せられた質問を、いくつかご紹介します。

Q、缶詰類について、容器の考え方を知りたい。また、環境ホルモンについてのグリーンコープの考え方、缶のコーティングについて教えてほしい。

- A、グリーンコープでは、環境ホルモン(内分泌攪乱化学物質)を含む物質の使用を禁止しています。ビスフェノールAが5ppb以上溶出する可能性のある容器は、使用を禁止しています。商品を取り扱う際は、事前に缶包材の内面コーティングと製造工程上の殺菌温度を調査しています。

Q、エコシュリンプの「エコ」の意味を教えてください。

- A、自然の力を生かした環境保全型の養殖技術(伝統型粗放養殖)で、人工飼料や化学薬品を使わずに育てているということで「エコシュリンプ」と名付けています。

わたしの
おすすめレシピ

たまごひとつで簡単プリン♪

【材料】(2個分)
産直びん牛乳 150cc
産直たまご 1個
きび砂糖 大2

【作り方】

- 産直びん牛乳、きび砂糖、産直たまごをよく混ぜる。
- 耐熱容器に移し、ふんわりラップをかけて600wで1~2分。
表面が膨らんだらOK。
※少しゆるくても余熱で固まります。
- 冷蔵庫で冷やします。
※冬場は温かいホットプリンもおすすめ♡
※耐熱容器に移す際、茶こしで濾すと口当たりが滑らかに。



(理事 上野)



エコdeグリーン
私の暮らし術



「せっけんでエコ洗車」

洗車に使った水は、どこへ流れていくのでしょうか？
側溝に流れた汚水は、そのまま河川に流れるところもあるようです。

洗車に使用する洗剤は、環境にやさしいせっけんがおすすめです。

わが家では…
せっけんを水に溶かし、トトロになったせっけん水で車を洗います。
※タイヤのホイールがアルミ製の場合、せっけんはアルカリ性のため残ると侵食が始まるので、流水でしっかりすすぎましょう。

(理事 庄田)

9月

- 4日(水) 中央支部理事会「よくばり試食会inぐりんママ」(中央支部)
- 5日(木) 福山支部地域福祉委員会「55歳からのキャッシュフローゲーム～心豊かに過ごすためのシニア編～」(福山支部)
- 10日(火) 福山支部理事会「Welcomeカフェ」(福山西部市民センター)
- 10日(火) 東広島支部地域福祉委員会「突然介護が必要になったら」(東広島芸術文化ホールくらら)
- 10日(火) 中央支部中部地区委員会「円縁学習会」(中央支部)
- 11日(水) 中央支部たしかめ委員会「ワンプレートカフェ風ランチ」(二葉公民館)
- 11日(水) 西支部理事会「秋川牧園見学バスツアー」(山口市)
- 17日(火) 西支部理事会「親子で工作しよう」(佐伯区地域福祉センター)
- 19日(木) 中央支部北部地区委員会「れんこん料理会」(高陽公民館)
- 19日(木) 東広島支部南部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(広まちづくりセンター)
- 19日(木) 福山支部東部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(福山支部)
- 24日(火) 理事会「種子法学習会」(安芸区民センター)
- 26日(木) 中央支部南部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(竹屋公民館)

10月

- 2日(水) 西支部理事会「防災講座」(げんきくんひろば)
- 3日(木) 東広島支部南部地区委員会「やまひこ会 れんこん料理講習会」(広まちづくりセンター)
- 3日(木) 西支部理事会「子ども料理教室」(げんきくんひろば)
- 4日(金) 福山支部理事会「キープ&ショップげんきキープ7周年祭」(福山支部)
- 8日(火) 中央支部理事会「いわみ野菜クラブバスツアー」(中央支部)
- 10日(木) 東広島支部理事会「ほっとるーむくろグリ7周年まつり」(東広島支部)
- 10日(木) 西支部理事会「遺伝子組み換え食品いらない！」(佐伯区民文化センター)
- 10日(木) 中央支部暮らし委員会「せっけんカフェ」(二葉公民館)
- 16日(水) 西支部東部地区委員会「グリーンわいわいカフェ」(己斐公民館)
- 17日(木) 中央支部地域福祉委員会「吉村春生講演会「心がけをひくとき」」(まちづくり交流プラザ)
- 24日(木) 西支部西部地区「グリーンわいわいカフェ」(阿品市民センター)
- 24日(木) 東広島支部地域福祉委員会「認知症ってなんだろう？」(東広島支部)
- 24日(木) 福山支部理事会「やまびこ会レンコン料理会」(かんなべ市民交流センター)
- 30日(水) 中央支部理事会「子ども料理教室」(中央支部)
- 31日(木) 中央支部理事会「子ども料理教室」(中央支部)
- 31日(木) 東広島支部たしかめ委員会「豆腐行事」(東広島支部)

11月

- 1日(金) 東広島支部暮らし委員会「アルカリウォッシュの学習会(仮)」(東広島支部)
- 5日(火) 東広島支部北部地区「グリーンわいわいカフェ」(※会場未定)
- 8日(金) 中央支部東部地区「グリーンわいわいカフェ」(二葉公民館)
- 13日(金) 中央支部北部地区「グリーンわいわいカフェ」(※会場未定)
- 20日(水) 東広島支部理事会「子ども料理教室」(東広島支部)
- 20日(水) 中央支部備北地区「グリーンわいわいカフェ」(三次ふれあい会館)
- 26日(火) 中央支部理事会「Welcomeカフェ」(西区民文化センター)
- 28日(木) 理事会「遠隔地視察報告会」(西区民文化センター)

※日時・会場は変更することがあります。詳しくはお届けのチラシをご覧ください。

社会福祉法人グリーンコープ

助け合いワーカーズでは「困った」を抱えた人の介護・障がい福祉サービス・家事全般・託児を「やさしい手」で心を込めたお手伝いをしています。

ふくしサービスセンター
西区・佐伯区・廿日市エリア
はあーせネット 082-942-0778

ふくしサービスセンター
安佐北区・安佐南区・東区・南区・中区・安芸区エリア
めーぶるネット TEL 082-870-4652

デイサービスセンター
夢＊グリーン TEL (082) 942-5821
＜利用時間＞
夢＊グリーン 月～金
9:00～18:00

デイサービスセンター
楓＊グリーン TEL (082) 555-8341
＜利用時間＞
楓＊グリーン 月～土
9:00～18:00



☆ふくし情報でんわ☆

「用品の選び方や使い方」「子育てや介護保険の情報」などで「困ったな?」と思った時にはお気軽にお電話ください!

フリーダイヤル (FAX専用)

0120-118742 開設:月～金 10:30～15:30 (土・日・祭日休み)